

# スマート防災ネットワークの構築 概要説明

---

令和8年6月3日（水）

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

参事官（インフラ・防災担当）

嶋崎 明寛

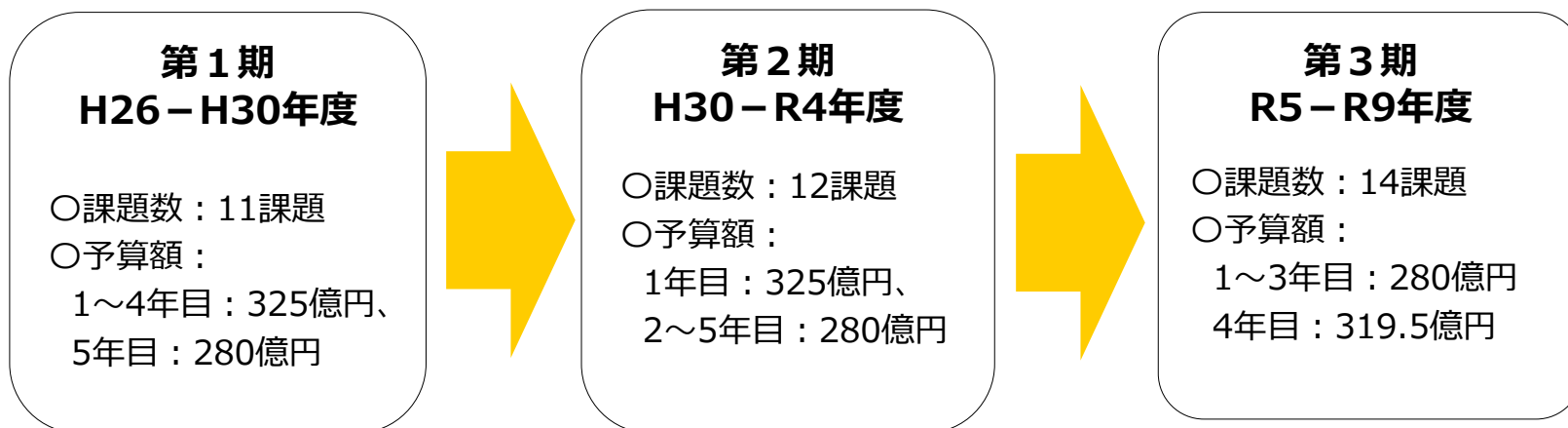


# 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）概要

## 【概要】

- 総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が、Society5.0の実現に向けてバックキャストにより、社会的課題の解決や日本経済・産業競争力にとって重要な課題を設定するとともに、そのプログラムディレクター（PD）・予算配分をトップダウンで決定。
- 基礎研究から社会実装までを見据えて一気に通貫で研究開発を推進。
- 府省連携が不可欠な分野横断的な取組を産学官連携により推進。マッチングファンド等による民間企業の積極的な貢献。
- 技術だけでなく、事業、制度、社会的受容性、人材の視点から社会実装を推進。
- 社会実装に向けたステージゲート（プログラム開始3年目）やエグジット戦略（SIP後の推進体制）を実施。
- SIP第3期では14課題を令和5年度より実施中。

## <SIPのこれまでの経緯（課題数、予算）>

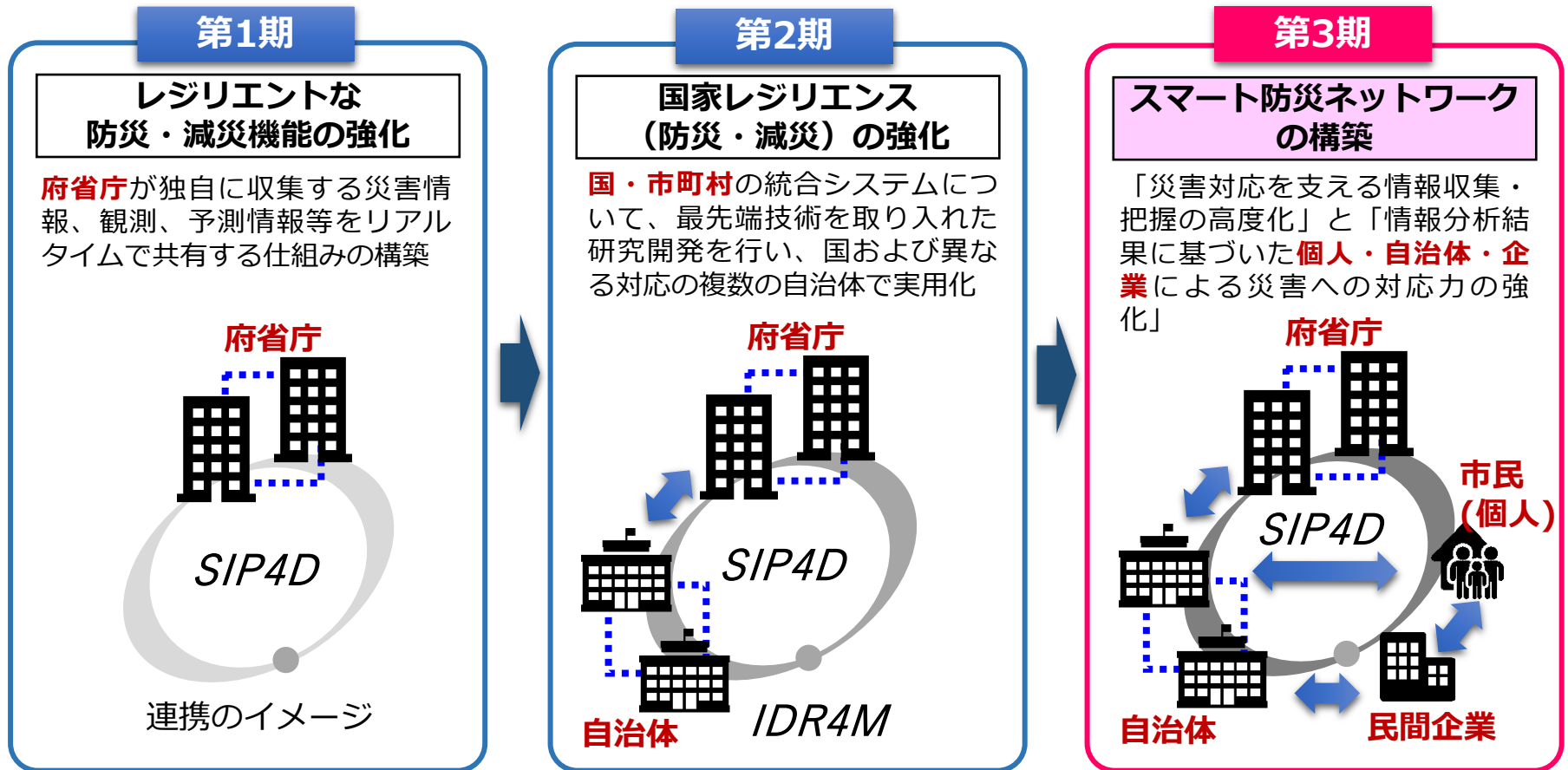




# SIP第1期、第2期からの発展

## ■防災・減災分野のSociety5.0における将来像

気候変動等に伴い災害が頻発・激甚化する中で、災害前後に地域の特性等を踏まえ災害・被害情報をきめ細かく予測・収集・共有し、個人に応じた防災・避難支援、自治体による迅速な救助・物資提供、民間企業と連携した応急対応を可能とする。



第1期から第3期にかけてのターゲットスコープの変化

# 「スマート防災ネットワークの構築」の概要

## ■ Society 5.0における将来像

巨大地震や頻発・激甚化する風水害に対し、**企業・市町村の対応力の強化、国民一人ひとりの命を守る防災行動、関係機関による迅速かつ的確な災害対応を実現し、社会全体の被害軽減や早期復興の実現を目指す。**

## ■ 課題概要

現実空間とサイバー空間を高度に融合させ、先端ICT、AI等を活用した「**災害対応を支える情報収集・把握のさらなる高度化**」と「**情報分析結果に基づいた個人・自治体・企業による災害への対応力の強化**」に取り組む。

## ■ 本課題で構築するスマート防災ネットワーク

### 現実空間



**災害情報等の収集・把握**

- 災害前後に、地域の特徴等を踏まえ、災害・被災情報をきめ細かく予測・収集

### サイバー空間



**情報分析・シミュレーション**

- 多様な収集情報に基づき、現実空間を再現したサイバー空間で時々刻々変化する気象、被害状況、リスクをリアルタイム分析・予測
- 各種災害シミュレーションで、被害・社会的影響を自動で予測し、災害リスクを可視化

**対応方針の自動生成・立案支援**

- 予測分析結果を踏まえ、適切な対応方針を自動生成するとともに、災害対応の最適化・意思決定支援に資する情報を提供
- ・適切な避難誘導、救助、応急対応
- ・効率的な部隊派遣、インフラ制御 等

**災害への対応**

- 個人・自治体・企業・実動機関による災害への対応
- 自治体による迅速な救助・物資提供
- 民間企業と連携した応急対応